

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

| | | | | | | |
|-------------------|---|------------|--------------------|------------|-----------|-----------|
| 施設名称 | 〔7〕 東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂 | | | | | |
| 指定管理者の名称 | 公益財団法人台東区芸術文化財団 | 指定期間 | H27.4.1 ~ H32.3.31 | | | |
| 1. 指定管理者の概要 | | | | | | |
| (1)業務内容 | 芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営 | | | | | |
| (2)類似施設の管理実績 | 文化施設5箇所 | | | | | |
| (3)経営状況 | 26年度決算 歳入 619,585,367円 歳出 546,711,643円 収支差額 72,873,724円 | | | | | |
| 2. 施設の概要 | | | | | | |
| (1)所在地 | 台東区上野公園8-43 | | | | | |
| (2)設置目的 | 奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より寄贈を受けた。日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存し生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。 | | | | | |
| (3)利用者 | 区民ほか | | | | | |
| (4)開館日・時間 | 保存修復工事のため、平成25年4月1日より休館中である。 | | | | | |
| (5)規模 | 延べ床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階(一部RC) / 資料展示室、楽屋控え室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室・倉庫、ステージ、ホール、ホワイエ、鑑賞室、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室など | | | | | |
| (6)人員体制 | 2名 派遣職員(1) 専門スタッフ(1) | | | | | |
| 3. 事業(サービス提供)の概要 | | | | | | |
| (1)委託事業 | 休館中における施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。 | | | | | |
| (2)自主事業 | 日本歌曲コンクール、入賞記念コンサート、木曜コンサート、N響メンバーによる奏楽堂コンサートシリーズ、特別事業レクチャーコンサート「バロック音楽紀行～イタリアからフランス、ドイツへ～」 | | | | | |
| 4. 予算決算の推移 | | | | | | |
| | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 予算 | 委託料 | 16,258,000 | 15,160,000 | 15,076,000 | 7,922,000 | 7,256,000 |
| | 利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理経費 | 16,258,000 | 15,160,000 | 15,076,000 | 7,922,000 | 7,256,000 |
| 決算 | 委託料 | 14,682,562 | 14,571,627 | 13,936,905 | 7,052,612 | 6,636,898 |
| | 利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理経費 | 14,682,562 | 14,571,627 | 13,936,905 | 7,052,612 | 6,636,898 |
| | 収支 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5. 施設の稼働状況等(活動指標) | | | | | | |
| 指標名称 | 単位 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
| 開館日数 | 日 | 244 | 243 | 休館中 | 休館中 | |
| 6. 成果指標 | | | | | | |
| 指標名称 | 単位 | 目標値(28年度) | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
| 入館者数 | 人 | 休館中 | 25,352 | 休館中 | 休館中 | |
| ホール利用率 | % | 休館中 | 96.5 | 休館中 | 休館中 | |

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

休館中においても継続している「木曜コンサート」「日本歌曲コンクール」の円滑な事業運営を行うとともに、関係団体とのネットワーク維持の必要性を考慮し、N響メンバーによる奏楽堂コンサートシリーズ等を再開させた。また、事務所が移転してからも、施設の保全、貴重な寄贈資料や楽器等の保守点検のため、定期的に職員が赴き適切な管理を行なった。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

| 評価の観点 | 評価項目 | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|----------------------|-----------------|----------------------|------------------------|---------------------|------------------------|-----------------|-------------------|
| (1)事業の運営 平均 [2.0] | (a)施設の目的達成 [2] | (b)サービス水準 [2] | (c)職員配置 [2] | (d)職員研修 [2] | (e)案内・接遇 [2] | (f)開館時間等の遵守 [-] | (g)自主事業の成果 [2] | (h)個人情報保護 [2] | (i)緊急時対応 [2] | (j)警備・防犯体制 [2] |
| (2)施設の維持管理 平均 [2.0] | (a)建物保守・設備機器点検 [2] | (b)備品の管理 [2] | (c)清掃・衛生管理 [2] | (d)施設の修繕 [2] | (e)危険箇所等の確認 [2] | (f)管理記録の作成・保存 [2] | (g)業務委託の事前承認 [2] | (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2] | | |
| (3)利用者の満足度 平均 [2.0] | (a)利用者・第三者機関の評価 [2] | (b)苦情・要望への対応と報告 [2] | (c)利用者数等の目標達成 [-] | | (d)利用しやすい環境整備 [-] | (e)関係団体・地域との関わり [2] | | | | |
| (4)収入支出 平均 [2.0] | (a)適正な予算執行 [2] | (b)管理経費の効率化 [2] | | | (c)収支計画の達成 [2] | (d)利用料等の徴収・管理 [-] | | | | |

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

| 評価の観点 | 評価 | 説明 |
|------------|----|--|
| (1)事業の運営 | A | 休館中においても継続している「木曜コンサート」「日本歌曲コンクール」、また再開させたN響メンバーによる奏楽堂コンサートシリーズ等の事業は円滑に行われている。 |
| (2)施設の維持管理 | A | 事務所が移転してからも、重要文化財である施設や貴重な寄贈資料・楽器等について定期的に職員が赴き、区と連絡をとりながら適切な管理に努めている。 |
| (3)利用者の満足度 | A | 休館中においても、関係団体とのネットワーク維持の必要性を考慮し、再開させたN響メンバーによる奏楽堂コンサートシリーズやパロックシリーズコンサートは好評を博した。 |
| (4)収入支出 | A | 適正に予算の執行がなされている。 |

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

| | |
|-----------|--|
| 妥当 | 休館中においても、関係団体とのネットワーク維持を考慮し、事業を再開させるなど、再開館後を見据えた事業運営を行なっている。また施設や物品管理についても適切に行われている。 |
|-----------|--|

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

工事開始に伴い、奏楽堂収蔵庫から民間の収蔵庫に移動させる貴重な寄贈資料や楽器等について、これまで通り、職員が定期的に赴き保守点検を行なっていく。また、休館中の取組みとしてこれまで寄贈を受けた資料等の整理も行っていく。